



木城町

Kijo town Publicity papers

木城町広報誌

木城

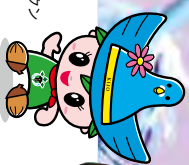
1月
2021年

比木神楽

INDEX

【特集】

新年のご挨拶(町長・議長)	 P 2 ～ 3
きじょ「じゅ」大ニユース	 P 4 ～ 5
義務教育学校シリーズ⑤	 P 6 ～ 7
冬の感染症にご用心！～コロナウイルス感染症だけじゃない～	 P 8 ～ 9
花乃通信ー、きじょこの書道作品	 P 10
まちの話題	 P 11 ～ 13
いぶぎNo.137	 P 14 ～ 15
木城えほんの郷だより・町の人口	 裏表紙



令和3年 新年のごあいさつ



コロナに負けるな！頑張ろう！木城町！

木城町長 半渡 英俊

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。日頃から町政運営に對しまして、深いご理解と心温まるご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症という世界の誰もが経験したことのない未知の脅威に襲われました。足止めの春、巣ごもりの夏、我慢の秋、そして第三波の襲来という大変な状況でありました。

さらには、高病原性鳥インフルエ
ンザが県内の農場で発生し、まさに、
ウイルスの脅威にさらされた一年で
した。

今年は「丑年」。我慢（耐える）や

発展の前触れ（芽が出る）を表す年

と言われています。発展と新しいこ
とが始まる年とするべく、感染防止
対策と地域経済回復を両立させるこ
とで、町民の皆様のを命を守り、暮ら
しを支えてまいります。

日々新、町民生活を守りながら、
まちづくりに挑戦実行してまいりま
す。木城町の将来像であります「み
んなで創る 明日に向けて翔くまち
木城」づくりに向かって、「個性が光
る産業・笑顔のあふれる健康・豊か
な心を育む教育・快適で安全に暮ら
せる・自然豊かな緑と水・町民が主役」
のまちを施策の柱として、農林業の
振興、青少年の健全育成、教育文化
の向上、生活環境の整備、福祉の充
実等に全力を傾注してまいる所存で

あります。

結びに、令和三年の新春にあたり、
町民皆様のご健勝とご多幸をお祈り
申し上げますとともに、新型コロナ
ウイルスの収束（終息）を願い、新
年のあいさつといたします。

コロナにまけるな！ 頑張ろう
木城町！



令和3年 新年のごあいさつ



木城町議会議長 神田 直人

新年あけましておめでとうござ
います。

新型コロナウイルスに翻弄され
た2020年、今年こそはと願
いを込めて手を合わせた人が多かつ
たのではないのでしょうか。はたし
て新型コロナウイルスは収束する
のか、この国の経済は持ち直せる
のか、オリンピック・パラリン
ピックは開催できるのか。不安な
年明けではありますが、私たちに
できるのは不要不急の外出を避
け、三密にならぬよう気を付けて
「新しい生活様式」を定着させる
よう努力するしかないのではない
でしょうか。

アメリカ合衆国の新大統領との
関係はどうなるのか。菅総理大臣
の舵取りはどうかなどまだ先の見
えない事が多いところです。その
中でも木城町の発展をみつめ、町
民が安心して暮らしていける道
をさがしていかなければなりません。

近年の異常気象による大規模災
害なども気になるところでありま
す。被災時の「自助」、「共助」、「公
助」の基本的な助け合いの気持ち
はますます必要になるのではない
かと思っています。

議会としましても皆様との対話
を重ね、町内の活性化を図り、行
政のチェック機能を果たすべく、

議会全員で対応してまいりたいと
思います。

議会に対しまして、一層のご理
解とご協力をお願い申し上げ、新
年のご挨拶と致します。



2020年、木城町で…木城町に…起きた こんなこと、あんなこと。

木城 の十

乗合タクシー「あおばと号」 本格運行開始!

令和2年10月から、乗合タクシー「あおばと号」が本格運行を開始しました。試験運行中から乗降場を増やし、絶賛運行中です!



木城 の集

九州オルレ「宮崎・小丸川コース」認定

木城町及び高鍋町の両町に根付く「百済王伝説」を活用し、九州オルレコースの設定を行い、認定審査を受けて、めでたく九州オルレ第9次の認定コースとなりました。

アウトドアの中でも人気のトレッキングコースが、身近にできましたのでコロナ禍でのお出掛けの一助に、ご活用ください!



木城温泉館湯らら館 開館20周年!!

平成12年に開館しました木城温泉館湯ららが、今年20周年を迎えました。

人気の滑り台で遊んでいた子供たちも、20年という歳月を経て成人式を迎える年となりました。

コロナ禍での門出となりましたが、今後も世代を超えて楽しめる癒しの空間のご利用をお待ちしております!

木城 の柔

木城中学校 柔道クラブ 県大会初優勝!

木城中学校柔道クラブの県大会優勝等、十代の躍進が目立つ1年でした! 今後の活躍も期待しています!



木城 の自由

木城町 パートナーシップ 宣誓制度スタート!

木城町在住もしくは転入予定の方を対象に性的少数者支援としてパートナーシップ制度の運用を開始しました! 県内でもいち早く着手しました。



きじょう「じゅう」大ニュース

きじょうの重

新型コロナウイルス感染症発生!

全世界で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、身近な場所でも危険が迫っているという状況に、重く張り詰めた空気が流れる時期もありましたが…。これからも「新しい生活様式」を遵守しつつ、人と人とが交流を持てる生活を続けましょう。

ほん ごう くら んど

北郷蔵人之墓が 木城町指定文化財になりました!

所有者の八幡神社(代表役員 壹岐久壽氏)と下鶴地区に代々大切に守られてきた北郷蔵人之墓が木城町で7件目の木城町指定文化財となりました!



木城の愛

各種表彰、受賞おめでとうございます!

個人、各種団体の皆さまのご活躍による様々な受賞のご報告をいただきました。大変喜ばしく、その素晴らしい活動への感謝の気持ちでいっぱいです。町としても内閣府交通安全功労者表彰を受け、交通安全の大事さを再確認しました。

木城の住

二代目地域おこし協力隊員 着任!

初代・地域おこし協力隊「神田憲裕氏」が勇退され、新・地域おこし協力隊「田中花乃氏」が着任し、木城町に移住されました。今後のご活躍を期待しております!



「さとむすび」にて木城町をPR!

東京都に9月にオープンした羽田イノベーションシティ内の飲食店「さとむすび」にて木城町のPRを12月末まで実施しました。さとむすびは全国の市町村や地域とタイアップして魅力を発信することをコンセプトとした飲食店で、9月から12月までで木城町産の食材を使ったメニューが提供されました。店内では木城町のPR動画を流す等、木城町の魅力を伝える場になりました。

令和5年度 義務教育学校開設へ向けて

～小・中一貫教育を行う新たな学校「義務教育学校」の設置～



校名候補決定 「みどりの杜 木城学園」

～未来に名をはせる校名 町民の皆様のご協力、ありがとうございました～

7月から校名を募集し、「義務教育学校開設準備委員会」（以下、開設準備委員会）において検討してきた木城町義務教育学校の校名候補が、決定しました。

新しい校名候補は、「みどりの杜 木城学園」です。

校名候補の選考に当たっては、開設準備委員会【総務部会】において、211 通の応募の中から 6 点の候補を選びました。その後、6 点の候補の中から町民投票を行い、票数の結果を参考に、開設準備委員会【代表者会】において、最終候補を 1 点選考したところです。

代表者会では、オブザーバーとして南九州大学講師 堂蘭敬子先生にご参加いただき、各団体の代表者（小・中学校校長、小・中学校 PTA、自治公民館連絡協議会、地域婦人連絡協議会、民生委員児童委員協議会、青少年育成町民会議、保育園長、保育園保護者）を交えた総勢 18 名の方々に検討いただきました。その結果、「みどりの杜 木城学園」には、委員の方々から右記の意見をいただき、校名候補として決定いたしました。

今後、町議会において、校名を含む義務教育学校の設置条例案が可決されれば、正式決定となります。

校名候補検討においては、町民の皆様から多数のご応募・投票等ご協力いただきました。町民の皆様のご協力、誠にありがとうございました。

【「みどりの杜 木城学園」委員からの意見】

- 緑豊かな山々に囲まれ、肥沃な扇状地が広がる木城の様子と、「みどりの杜」という言葉がマッチしている。
- 木城を象徴するカラー（みどり）がスクールカラーとなり、よいのではないかと。
- スクールカラーの「みどり」を、学校の教育活動に結びつけていくことができる。例えば、「みどりを大切にす活動」として、花や植物を育てる、環境学習を行う等。
- 新しい学校に「みどりの杜」と付けることで、「緑を大切にしたい」という今の人々の思いが、20 年、30 年後にも受け継がれていくのではないかと。

義務教育学校開設準備委員会だより【記念式典部会】

～開校式典の内容、記念碑・記念樹の移設・移植について検討しています～

開設準備委員会では、義務教育学校開設へ向け、様々な準備を進めています。現在、記念式典部会では、令和5年度の開校式典の内容や、現在の小・中学校にある記念碑、記念樹の移設・移植等を検討しており、下記のメンバーで協議しています。

《義務教育学校開設準備委員会【記念式典部会】メンバー》

自治公民館連絡協議会 会長、副会長	前スポーツ少年団本部長
木城町地域婦人連絡協議会会長	小学校長・中学校長
小学校 PTA 会長	中学校 PTA 会長

【移設・移植を予定している記念碑・記念樹】



【二宮金次郎像】



【小学校玄関前の記念樹】



【中学校正門記念碑】

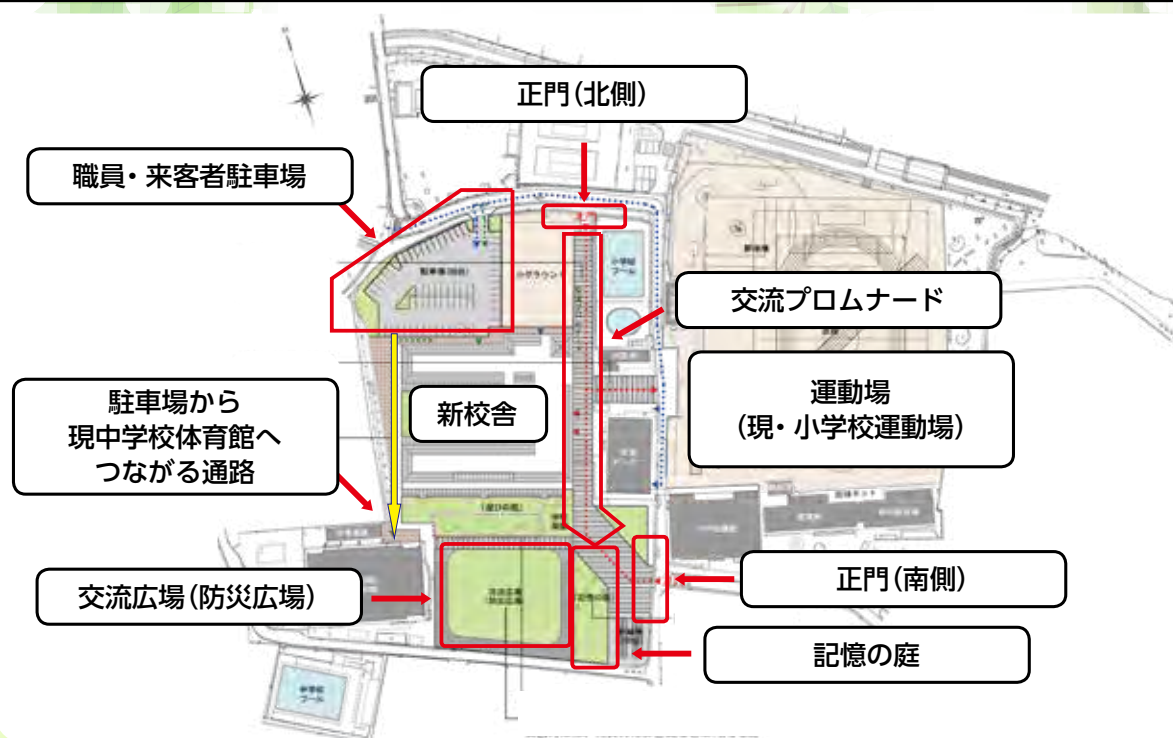
まず、義務教育学校開設の年となる令和5年4月に、①開校宣言式②開校記念式典を行います。①開校宣言式は、始業式当日に行い、教育長から校長先生へ、「開校宣言書」を渡し、開校を宣言します。次に、②開校記念式典は、児童生徒、保護者、来賓の皆さんと一緒に、開校を祝います。開校記念式は、入学式前日に行う予定です。

また、現在の小・中学校の敷地内にある記念碑や記念樹を、新校舎の敷地内に設置する「記憶の庭」に移設・移植することを記念式典部会で検討しています。

これらの計画は、今後変更する可能性がありますので、予めご了承ください。

「みどりの杜 木城学園」校舎配置について

～児童生徒の移動の安全性、地域の方々との交流を重視し、学校の歴史を大切にする、配置になっています～



今回は、「みどりの杜 木城学園」の校舎配置計画についてご紹介します。

新校舎は、現在の中学校運動場に建設し、現在の小学校運動場をそのまま活用します。また、リバリスや町体育館・テニスコートなどの施設にも移動しやすいよう通路を配置するとともに、児童生徒が移動する際の安全性が確保できるよう、駐車場の配置も考慮しています。更に、地域の方々や異学年交流ができるスペースや、現在の小・中学校にある記念碑・記念樹を移設するスペースも設置しています。具体的には、次の通りです。

◆新校舎の位置◆

新校舎は、中学校運動場の中央部に配置し、既にある施設(プール、中学校体育館、小学校運動場)への移動時間の短縮を図っています。運動場は、現在の小学校運動場を整備し、活用します。

◆子ども達の安全性の確保◆

子ども達が移動する際の安全性を確保するため、正門を南側、職員・来客駐車場を北側に配置し、歩車分離を徹底しています。

◆「交流プロムナード」◆

子ども達が正門から玄関、北門へ向かう通路を「交流プロムナード」とし、様々な出会いを促進するとともに、町の施設(椎木児童館、町体育館、リバリス)へ移動しやすくしています。

◆異学年交流や地域交流、防災関連の「防災・交流広場」、今までとこれからをつなぐ「記憶の庭」の設置◆

正門に面した位置に「防災・交流広場」を設け、文化祭などの学校行事や地域イベントで活用できるスペースを計画します。また、災害時には避難者受付や物資の荷を解く場となる防災広場として活用します。更に、「記憶の庭」を設け、記念樹や記念碑(二宮金次郎像など)を移植・移設し、卒業生の思い出や記憶を残す計画としています。

◆地域開放への配慮◆

中学校体育館を地域開放に対応できるよう、職員・来客者駐車場から新校舎西側を通り、最短距離で行ける通路を確保しています。

このように、学校の歴史や人との交流、安全性を重視した校舎配置となっています。完成が、ますます楽しみです。

なお、今回のイメージ図は設計予定の段階ですので、今後の協議によって変更になる場合もあります。あらかじめ、ご了承ください。また、広報誌において新校舎に関する説明を行うのは、今回が最後となります。これまでの説明において、ご意見・ご質問がございましたら、木城町教育課(0983-32-2369)までお問い合わせください。

冬の感染症にご用心!

～新型コロナウイルス感染症だけじゃない～

「いま!」できることを実践! 新型コロナウイルス感染症予防

年末年始を迎え、人の集まる機会も多くなってきます。今一度、感染リスクの高まる要因を確認して、予防をしていきましょう。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲食の影響で、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 狭い空間に長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、感染リスクが高まる。
- 車やバスで移動する際の車内でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



新型コロナウイルス感染症の感染経路

飛沫感染

会話や咳、くしゃみなどで放出されるウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染する。

接触感染

手を握る、ドアノブ・ボタンスイッチ・便座などの表面を介しての接触で感染する。

感染リスクを下げながら会食を楽しむ工夫

- 飲酒をするときはできるだけ少人数・短時間で、なるべく普段一緒にいる人と!
- グラスの回し飲みや箸などの共有はやめる!
- 大皿は避けて、料理は個々に!
- 席の配置は斜め向かいに(正面はなるべく避ける)!
- 会話をするときは、なるべくマスクを着用する!
- 換気を適切にされているなどの工夫をしているガイドライン遵守のお店で!
- 体調が悪い人は参加しない!



感染症予防には「手洗い・うがい」が効果的！

冬本番に向けて、日増しに寒さが身に染みる季節になりました。気温・湿度が下がると、様々な感染症が流行し始めます。新型コロナウイルス感染症予防のために推奨された『手洗い・うがい』は、他の感染症の予防にも効果がある対策ですので、引き続き継続して感染症の予防に心がけましょう。



インフルエンザ予防接種はお済みですか？

予防接種の効果は接種後2週間以降からと言われています。
流行シーズンが始まる前に、お早めの接種をお勧めします！

【対象者】木城町に住所のある方で下記の対象年齢に該当する方

	対象年齢	接種回数	助成額	自己負担額
①	65歳以上の方 (接種日時点で65歳以上の方)	1回	全額	0円
②	60～64歳の方で心臓、肝臓、呼吸器に 重い病気のある方	1回	全額	0円
③	生後6ヶ月～13歳未満	2回	1回あたり 2,000円	予防接種料金から 助成額を 差し引いた額
④	13歳～15歳以下(中学3年生)	1回		
⑤	15歳～18歳以下(高校3年生)	1回		
⑥	妊婦	1回	全額助成	0円

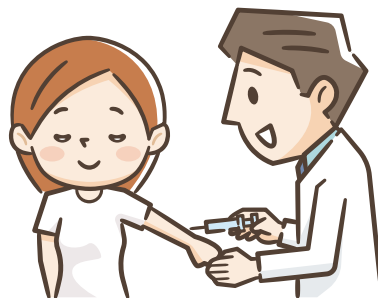
※予防接種の料金は医療機関によって異なります。

【接種期間】 ①②の対象の方 ～令和3年1月31日(日)まで
③④⑤⑥の対象の方 ～令和3年2月28日(日)まで

※上記の期間を過ぎての接種は全額自己負担になります。※できるだけ早めに接種してください。

【接種場所】 県内の予防接種実施医療機関
(10月号月報にてご確認ください)

【接種方法】 ①事前に医療機関に予防接種の予約をしてください。
②予防接種を受ける際は健康保険証や診察券などを
持参してください。(予診票は医療機関にあります)



●ご不明な点はお問い合わせください●

木城町保健センター ☎ 0983-32-4010

花乃通信!!

隊員No.2 田中花乃



木城町の皆様、新年明けましておめでとうございます。

私の2020年は、新しい環境・新しい職場と新しい出来事ばかりの1年でした。木城に来てから、様々な出来事や人との触れ合いに、毎日刺激的で楽しい日々です！

さて、先日木城中学校の教頭先生から有難いご依頼があり、木城中学3年生の“キャリア教育”の講師をさせて頂きました。こんな私が生徒さん達に伝えられる事とは何か、何日も考えました。

私には、島育ちの友人がいるのですが、以前その友人が「子供の頃は、田舎育ちがコンプレックスだった」と言っていた事に、衝撃を受けた事を思い出し、「もしかすると木城中の生徒さんの中にも自分の町の良さにまだ気づいていない生徒さんがいるかも！」と思い、今回のキャリア教育では、「宮崎・木城町の良さ」などについてお話をさせて頂きました。感想文には「正直田舎はあまりいいところがないと思っていたけど、もう少し自分の町をよく知ろうと思いました」など嬉しい言葉が。移住したばかりの私ですが、1人でも多くの木城の生徒さんがこの美しい宮崎・そして木城町を誇りに思ってくれたらと思います。

最後になりましたが、町民の皆様にとって、健康で、平穩で、良い年になりますようご祈念申し上げます。



キャリア教育の写真

Facebook 宮崎県木城町観光協会 Instagram @kijokankou
ホームページ【木城町観光協会】で検索 URL: kijokanko.com



きじょこの書道作品

今月の「きじょう」と「木城」



木城小学校の児童の皆さんに、「木城」と「きじょう」の書道作品を募集しましたところ、64点というたくさんの応募をいただきました。当初は題字に使わせていただく予定での募集でしたが、皆さんの達筆な作品や個性的な作品が多く集まりましたので、題字だけでなく広報きじょうの記事の中にも掲載させていただくことにしました！

今月号から誰かの作品がどこかに載っているのを探してみてくださいね！

今月の題字を書いたのは

山崎 妃菜里さん(3年)



今月の掲載作品を書いたのは

金丸 奏琉さん(6年)

桑原 真輝さん(6年)

谷岡 昊鷹さん(6年)

中竹 秋晴さん(6年)

永光 伽帆さん(6年)

松元 結さん(6年)

池田 悠莉さん(5年)

高砂 琥白さん(5年)

日高 優花さん(3年)

永友 希実さん(2年)





木城中柔道クラブ県大会初優勝

木城中学校柔道クラブが、県中体連の女子団体の部で優勝を勝ち取る快挙を成し遂げました。また男子団体の部ではベスト8、男子個人の部では2年生の平田彪悟さんが準優勝という成績を収めました。

コロナ禍を乗り越え、今後の活躍も期待しています！



株式会社ドライアップジャパンが宮崎県中小企業大賞を受賞

県内産業の振興や経済活性化に寄与した企業を宮崎県が表彰する本年度の「宮崎県中小企業大賞」の表彰式が令和2年10月22日に県庁であり、本町の（株）ドライアップジャパンが町内では初めて受賞しました。同社は、遠赤外線と熱風を利用した効率的で高品質な焙煎加工装置を開発し、輸出にも乗り出している点が高く評価され、今回の受賞となりました。



押川ヨシミさん 令和2年度社会福祉功労者等に対する宮崎県知事表彰受賞

令和元年11月30日付で民生委員をご勇退された押川ヨシミさん（四日市）が令和2年度社会福祉功労者等に対する宮崎県知事表彰を受賞されました。押川さんは、平成19年12月1日付けの委嘱から12年の長きにわたり民生委員として本町の社会福祉増進にご尽力され、その活動が認められ今回の受賞となりました。





消防合同訓練実施

令和2年11月9日、木城町役場と東児湯消防組合の消防合同訓練が実施されました。

集まれた町民の方が見守る中、AEDを使った蘇生訓練や高層階からの救助活動、消火活動の訓練が行われました。



UMK と防災パートナーシップ協定締結

UMK（株式会社テレビ宮崎）がCSR活動※1の一環として県内全市町村を対象とした防災パートナーシップ協定の締結を進められており、本町も令和2年12月2日に防災パートナーシップ協定を締結しました。災害時の連携はもとより、平常時にも災害予防対策に資する取り組みが可能となります。

今後は、UMK テレビ宮崎の地上波テレビ放送やホームページ、アプリなどでの個別の防災情報の配信などが行えるようになります。



※1 「CSR活動」…企業の社会的責任「Corporate Social Responsibility」の略

選挙出前授業を実施しました

木城町選挙管理委員会（朝倉正男委員長）は、政治や選挙を身近に感じてもらう若者層の政治参加への啓発を図るため、木城中学校3年生41名を対象に出前授業を実施しました。授業の前半は選挙管理委員会の佐々木書記による選挙制度についての講義、後半は町選管委員と総務財政課職員が投票管理者・投票立会人・事務従事者を務め、模擬選挙『木城中学校3年生給食選挙』を行いました。『木城中学校3年生給食選挙』は、中学校生活最後（令和3年3月15日）の給食を投票により生徒自身が決めるというものです。投票に際しては、選挙で実際に使用している投票箱や記載台等を用いて実際の投票所に近い環境を作り、実際の選挙と同じ『投票』を体験していただきました。今回は、「揚げパンセット」と「チキン南蛮バーガーセット」2つのメニューが立候補し、投票結果は「揚げパンセット」26票、「チキン南蛮バーガーセット」14票、「無効票」1票で、『揚げパンセット』に決まりました。生徒の皆さんは、この出前授業により選挙を身近に感じていただけたようです。





お里練り歩き

昨年も行われた「お里練り歩き」が令和2年11月8日に実施されました。

町民の方々が見守る中、福智王四十八隊、木城夢みる劇団のメンバーらが衣装を身に着け、比木神社から出発し町内を練り歩きました。



木城小・美郷南学園交流

令和2年11月12日、木城小学校に美郷南学園（美郷町）の児童が訪れて交流会が行われました。木城小学校4年生53名と美郷南学園4年生11名がレクリエーションや発表で打ち解けた後、それぞれの町に伝わる百済王族の伝説をモチーフにしたダンスを披露しました。

お昼休みには一緒に遊び、遠いけど近い町同士のつながりが子どもたちの間でも広がっていく様子は微笑ましいものでした。



茶農協からお茶をいただきました

児湯郡茶農業協同組合より町内の小中学校、保育園、老人介護施設等にお茶を寄贈いただきました。使用茶葉は西都・児湯地域のお茶で、木城町の生産者3名分も含まれています。

ペットボトル飲料もおいしくなっていますが、急須でいれるお茶は滋味深く、奥深いものがあります。

お茶に含まれる成分には感染症の予防効果が期待できるものもありますので、これからの季節は、ぜひ温かいお茶を淹れて飲んでみてください。



「赤とんぼ」が宮崎県道路愛護運動推進協議会長表彰、日本道路協会道路功労者表彰を受賞

本年度「赤とんぼ」（代表 森 さち子さん）が、宮崎県道路愛護運動推進協議会長表彰、日本道路協会道路功労者表彰を受賞されました。

宮崎県においては、県民の道路に対する関心と公共心を高揚するため、道路愛護の啓発宣伝を行い、県民の参加を求めて、道路愛護の県民運動を推進することを目的として、特に功績のあった県内の個人及び団体の表彰を行っています。

日本道路協会においては、道路事業ならびに道路の愛護・美化保全・防災等に尽力された個人及び団体を対象に表彰を行っています。

赤とんぼにおかれましては、道路の植栽帯への花植え及び除草、美化活動を長年に渡り、取り組まれたことが評価されての受賞となりました。この度の受賞、誠にありがとうございました。



活力と潤いに満ちた生きがいと魅力あるまちづくり

木城町民文化祭 生涯学習のつどい大会

大会主題を「見つめ直そう地域の学び直そう地域の学び」として開催されました。

内容は、武者小路実篤の詩を引用し、町内の個人・団体を表彰した讃嘆式、中学生の学習発表、子どもや大人による実践発表、また、「電子メディアと子どもたち」と題して、どんぐりこども診療所

院長 糸数智美様による講演等でありました。

今回は、さわやかジュニアリーダークラブの中学3年生の皆様に参加の協力を得て、盛大な大会となりました。

讃嘆式受賞者	
木城町自治公民館連絡協議会讃嘆	橋口 和弘さん(岩淵)
木城町生涯学習推進協議会讃嘆	江藤 睦美さん(石河内)
木城町体育協会讃嘆	高橋 宗義さん(出店)
木城町青少年育成町民会議讃嘆	林田 優陽さん(岸立団地)
	池部 朱凜さん(中川原)
	木城中学校柔道クラブ



讃嘆式



実践発表 子どもレクダンス



実践発表 オカリナ演奏



糸数 智美様による講演

木城町民文化祭 作品展示の部

絵画・書道・手芸等の様々な分野の作品が今年も多数出展されました。

コロナ禍におけるステイホーム中に作品制作に励まれ、例年以上に出展数が多く、魅力的で華やかな作品展示となりました。

なお、今年は木城町観光協会・木城町商工会にご協力いただき、一般の方の作品の中から優秀な作品の選出を行い、後日表彰式を開催しました。



今年の展示作品



作品展示受賞者のみなさまと

シリーズ自治公民館だより「木城町の結いの心」②「岩渕自治公民館」

岩渕自治公民館は、現在123世帯が加入(令和2年4月1日現在)しており、年間様々な行事を実施しています。

その中でも大きな行事として、11月に開催される「多賀神社秋祭り」があります。

これは、公民館敷地内にある多賀神社で行われる秋の収穫に関する祭りとして、例年この時期に開催されています。今年は、町の助成事業である「大人と子どもの交流事業」の一環として、地区子ども会、老人クラブ、地元消防団員の皆様の積極的なご協力により、さわやかな秋空の下、盛大に開催することが出来ました。

近年、当地区は町外からの移住者も増えきており、これまで以上にコミュニティ活動の充実に力を入れていきたいと思っています。



岩渕公民館多賀神社秋祭り

シリーズ「高城合戦を歩く」⑤「宗麟原供養塔」

宗麟原供養塔は、川南町と木城町が隣接する木城温泉館「湯らら」の向かいの山手にあたる北湯迫の台地上に位置しています。

この供養塔は、天正6年(1578年)に行われた第1次高城合戦終了後、薩摩国の島津義久が天正12年(1585年)に合戦の7回忌に当たり、戦没者の供養の為に建立しました。

塔の種類は六地藏塔で、そこに記された碑文の内容は島津氏の敵味方を超えた博愛の精神が読み取れるもので、昭和8年(1933年)2月に国指定文化財となり、通称「カンカン仏」として地元によく知られています。



宗麟原供養塔

生涯学習講座「北郷蔵人」について

リバリス2階大会議室にて行われました。講師に木城史談クラブの原 朋輝氏(重木地区在住)を迎え、高城合戦にて活躍した島津方の武将、北郷蔵人についてパワーポイントを用いて解説して頂きました。

参加者は町内外から26名あり、本町の郷土の歴史に関して、詳細で分かり易い内容であり、郷土の歴史に目を向ける契機となる講座になりました。



講座の様子

飯野和好

畑をとびだした原画展



2021年1月6日(水)~2月21日(日)

2021年の新春、木城えほんの郷は『飯野和好 畑をとびだした原画展』を開催します。
今回は、『かふんとみつ』『へのかっぱ』『火 あやかし』『ねぎぼうずのあさたろう その10』の4冊の絵本原画を展示します。飯野和好さんの生命力にあふれ、土の香りのしてくる絵本の世界をどうぞお楽しみください。

つん つん
てん てん



そよ そよっと
はい はい はい

入場料 大人500円・小中高生300円
(会員及び町内の方は2割引)

くらやみ探検隊 くらやみと火のまつり

2021年2月13日(土)~14日(日)



火吹き場でフイー...

自然の深い響きの中を歩いたことがありますか。
くらやみ探検隊は、2月13日の夜、木城えほんの郷の森の中を探検します。森の奥の底の囁き声、響く浮かない憂うつな冬蟻の舞、くらやみを歩き、火に出会う...火を囲み、葛ばなしを楽しみ、みんなと語ろう！
あなたも参加してみませんか？



おで火をつけてみたよ！...

参加費 大人 6000円
小中高生 3000円
幼児 1000円
(1泊2日食事付・保険料含む)

参加お申込みは 木城えほんの郷39-1141まで！

コロナ感染拡大防止のため、中止になるときもあります。ご了承ください。

年末年始休館 2020年12月26日(土)~2021年1月5日(火)

木城町の人口 (令和2年12月1日現在)

■人口: 4,887人(先月比-4人) 男: 2,251人(3人) 女: 2,636人(-7人)
■世帯数: 1,930世帯(先月比2世帯) ■町面積: 145.96km²